

■お客様紹介(敬称略)

▼行政関係他／静岡県産業部(松下和生、佐藤泰章)、しずおか産業創造機構(梅田正雄)、静岡市(木村講二、杉浦 進、瀬本豊久、赤堀文宣、池田文信)、静岡県商工会議所連合会(杉 雅敏)、静岡商工会議所(赤堀真一郎、長島誠一郎)、清水商工会議所(山本 勉、赤堀 武)、静岡市清水商工会(前澤 佑)▼フォーラム講師・静岡産業大学学長(大坪 壇)、静岡県商工会議所連合会会長(松浦康男)、国際ロータリー第2620地区ガバナー 牧田静二▼ロータリー関係／第2620地区パストガバナー(坂本豊美、青島廣幸、勝山國太郎、鈴木亀雄)、静岡第5分区ガバナー補佐(大石訓永)、地区GSE委員長(池戸智之)、他3名のGSE地区派遣メンバー■RC事務局員(高橋美和、久保田薫、山本真紀、鈴木裕子、水野恵美子、大木由加里)

●IM実行委員長 新聞 溥二 様 挨拶

本日は大勢のお客様、また会員の皆様にご出席をいただきまして、誠にありがとうございました。丁度10年前、本日のホスト役を務めます中村ガバナー補佐は、私ども清水RCの会長に就任いたしました。それまで、あまり熱心な会員のように見えなかったのですが、会長に就任すると同時に、まるで人が変わったかのように、従来の慣習にとらわれず、精力的に数々の改革を推進されました。それから10年、時代の変化に合わせて、国際ロータリーのルールも随分変わりましたが、振り返ってみますと、中村さんのやられたことは、そうした動きを先取りしていたかのように思われます。

本日のIM・合同委員会についても、本来、インターシティ・ミーティングとは、かくあるべきだという強い理念のもとに企画し、牧田ガバナーの賛同を得て実施に至ったものであります。

ロータリー年度開始早々の7月開催ということで、各クラブには大変ご迷惑をおかけし、また不行き届きも多々あるかと思いますがお許しをいただきたいと思います。

本日のフォーラムのテーマは「地域奉仕活動の意義を求めて」であります。

幸いにして意中の講師の方々には、快くご出席をいただくことができましたので、この試みが、今後のロータリー活動活性化のきっかけの一つとなることを願っております。

●フォーラム <コーディネーター 中村光次 様 挨拶>

RIの今年度の標語は「夢を形に」です。昨年、ガバナー補佐になって、せっかく分区があるのだから年に1度くらい全員一堂に会したらどうかと、静岡第4分区初の合同例会開催を試みました。資料をひもといてみますとIMとは全員集会でやるものだということが書かれてありました。最初に牧田ガバナーのスケジュールを伺い、7月の今日だけが何とかなるとのことで、ご無理をお願いしてこの日を全員集会のIM委員会と計画しました。講師の方々にも今年の1月頃にお願いしました。蓋を開けてみれば、年度当初にもかかわらず、皆様のお力添えのおかげで分区在籍会員415名中310名の参加、75%もの出席率をいただき、お客様その他あわせると330名もの盛会となりました。

増え続ける発展途上国に比べ日米欧のロータリーの会員は減り、殊に日本は10年間で1/4の会員数減少を見ており、世界で最も厳しい減少地域です。これには経済情勢、社会情勢の変化もありますが、もっと日本の社会にあったロータリーのあり方を考えなおす必要があります。今日のお三方の講演を通して、職業奉仕、職業倫理という理念のもと、地域、経済、社会にロータリー活動がどう貢献できるかを考える一助にいただければ幸いです。

<講師基調講話>

■講師 大坪 壇 様 (静岡産業大学学長)

- ・地域温暖化・世界的経済社会的環境の変動と飢餓貧困、国際経済との連関に関わる新たな静岡地域での産業基盤の育成を通して、地域の近未来を考えながら、新たな視点からの地域人材育成の実践現場からの貴重な示唆を求める。

■講師 松浦 康男 様 (静岡県商工会議所連合会会長 静岡商工会議所会頭)

- ・流通交通環境・都市合併道州制への胎動など行政環境の 革命的な変化に対応する地域経済社会の将来像について
- ・地域経済社会の将来像について、地域における専門職業領域のリーダーシップを担うロータリークラブ会員諸氏への最新の情報と活動指針への示唆を求める。

■講師 牧田 静二 様 (国際ロータリー第2620地区ガバナー、弁護士・静岡RC)

- ・R1の今年度の主題、R1の活動指針についての総論
- ・地域での実践課題・組織的問題点など
- ・国際ロータリーと日本のロータリーでの活動の視差について